

# 児童生徒質問紙からみえてくる東員町の子どもたち（令和3年度）



東員町



三重県

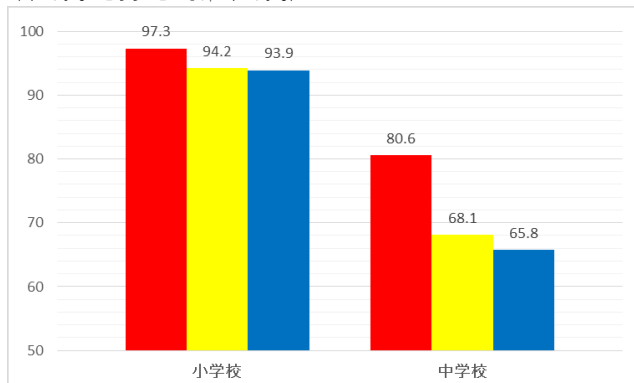


全国

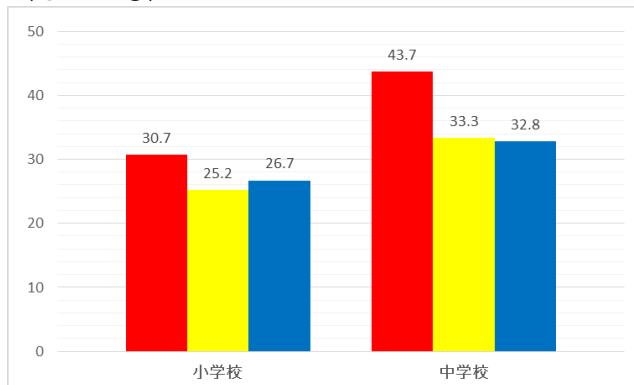
## 16年一貫教育プラン（3感 EDUCATION）に関すること

### 【基本的信頼感】

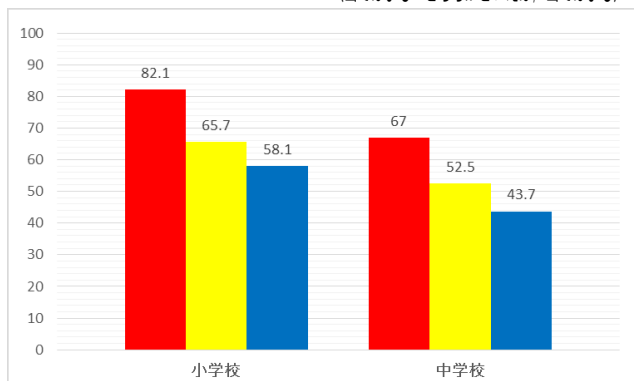
友だちと協力するのは楽しいと思いますか  
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



自分の思っていることや感じていることをきちんと  
言葉で表すことができますか  
(している)

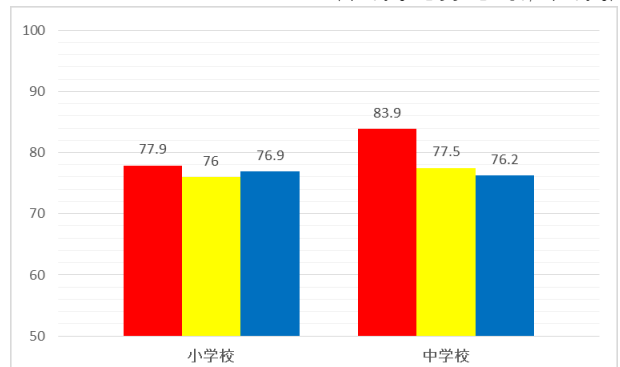


今住んでいる地域の行事に参加していますか  
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



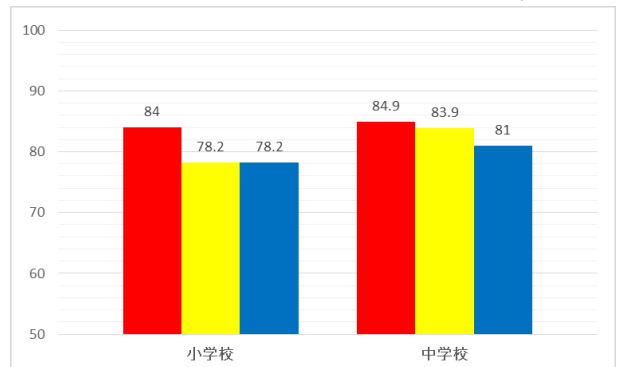
### 【自己肯定感】

自分には、よいところがあると思いますか  
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

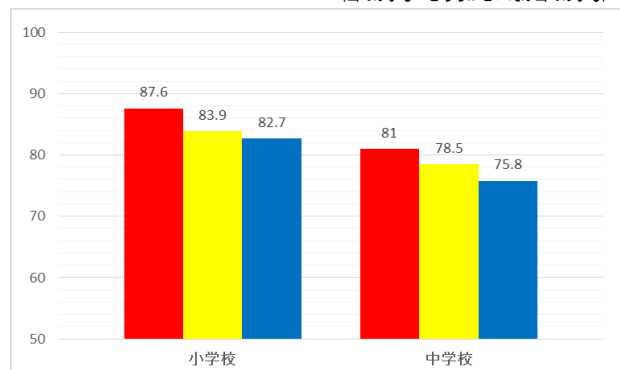


### 【自己有能感・GRIT（やりぬく力）】

昨年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。  
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、  
諦めずにいろいろな方法を考えますか。  
(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)



○「16年一貫教育プラン」の基本的信頼感は、子どもが発達段階に応じた成長を重ね、発達課題を乗り越えていく上で大きな土台となるものです。子どもが基本的信頼感を育むために必要と相手とは、家庭ではお母さん・お父さん、園・学校では保育者や教師、共に過ごす仲間です。

今回の結果から、全国や県と比べて、子どもたちが友だちと協力する関係が築けている割合が高い結果でした。また、他者を信用することを基礎として、自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができている割合も高く、日常において相互に相手を大切にしようという関係ができているといえます。

○地域行事への参加や地域の大人との関わりは、毎年度、全国や県と比べて肯定的な回答が多く見られます。このことは、地域に自分の居場所があり、地域の方との関わりを通して、多くのことを学び、愛されて育てている証拠といえます。

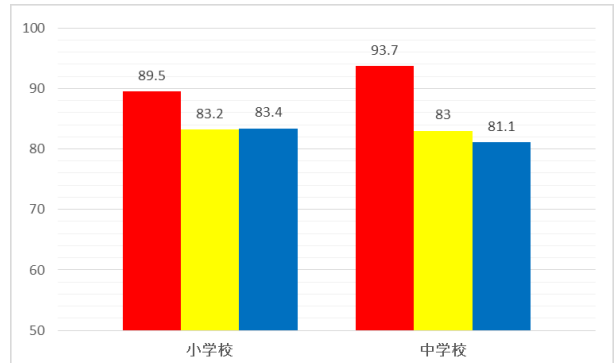
○「自分にはよいところがある」の項目では、全国や県が、小学校と中学校の差があまりにない一方で、東員町では中学校で割合が高くなっています。これは、小学校での自己肯定感を高める取組が中学校でも引き継がれ、学校生活を通して、自己肯定感を高め感じる場面があることを表れています。

○東員町では、学校生活の中で様々な失敗と成功体験を繰り返し、困った時やわかかならない時は他者依存しながら、相互理解・相互尊重できる力を育てています。全国や県と比較して、難しい課題にも諦めずに最後までやりきろうとする力がついています。他者依存と相互理解は、「頑張れば自分もできる。きつとうまくいく」という自信になり、困難なことにも前向きに挑戦しようとする自己有能感につながります。

**【意欲】**

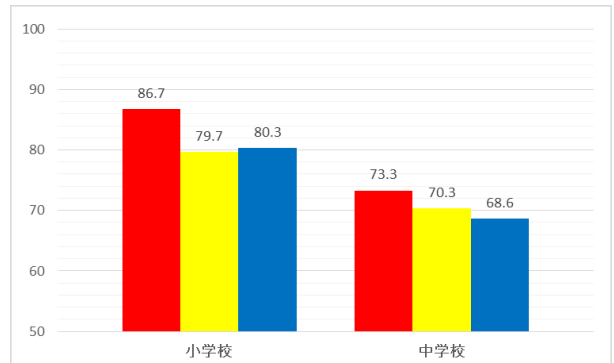
学校に行くのは楽しいと思いますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



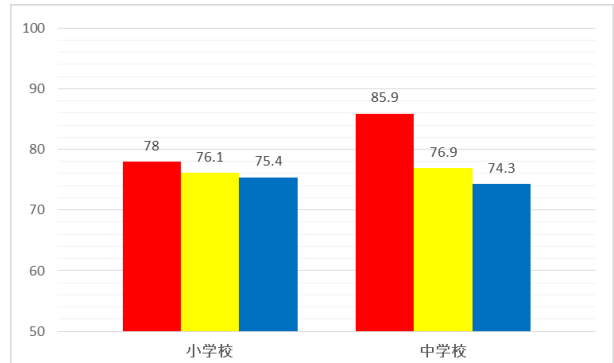
将来の夢や目標を持っていますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



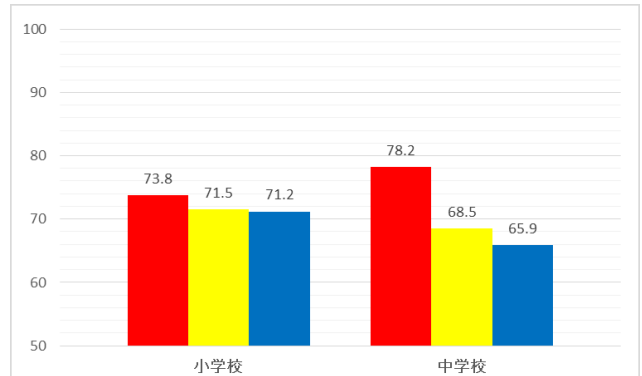
人の役に立つ人間になりたいと思いますか

(当てはまる)



難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



東員町では、学校に行くことが楽しいと思える子どもが多く見られます。これは、仲間と一緒に学校生活を送る中で、共に学んだり遊んだり活動したりすることへの意欲の高さとも捉えられます。

全国や県と比べても、将来の夢や希望をもって、意欲的に日々生きている子どもや、人の役に立つ人間になりたいと思える子どもが多く見られます。また、何事にも失敗を恐れずに挑戦できる意欲も育っています。

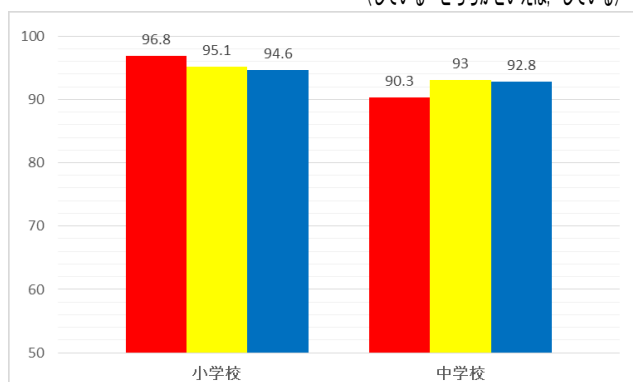
将来の夢や目標を持つことは、子どもにとって最大のやる気スイッチになります。東員町では、「16年一貫教育プラン」の実践として、「親子クッキング」「運動プログラム」（幼稚園保育園）、「とういん学び検定」「東員なわとび検定」（小学校）、「弁当の日」（小学校6年・中学校）、近隣の高等学校生徒による「ものづくり出前授業」（小・中学校）、そして「読書登山」「ぼくの未来・私の未来ファイル」（全園校）などに取り組んでいます。この実践を通して、家庭・地域と園・校が一体となり、子どもたちの“生きる力”につながる意欲を育てています。

また、人の役に立ちたいと思える子どもが多く、中学生の割合が高くなっていることは、東員町の教育目標「確かな学力と豊かな人間性をもとに社会に参画する力（自己実現と社会の発展に貢献する力）」の実現に向かって前進しているととらえています。

## 子どもの権利に関すること

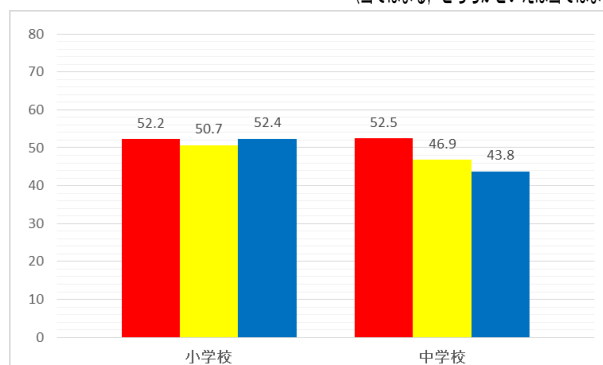
朝食を毎日食べていますか

(している・どちらかといえば、している)



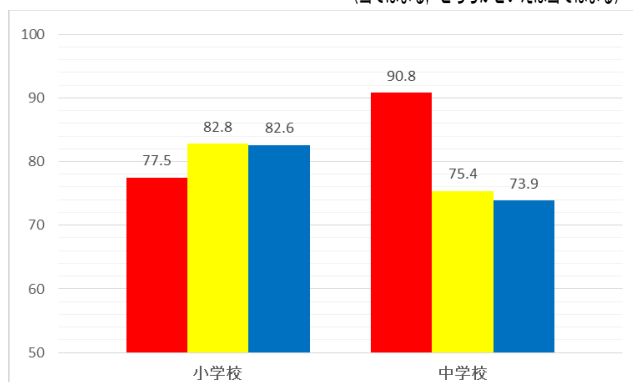
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



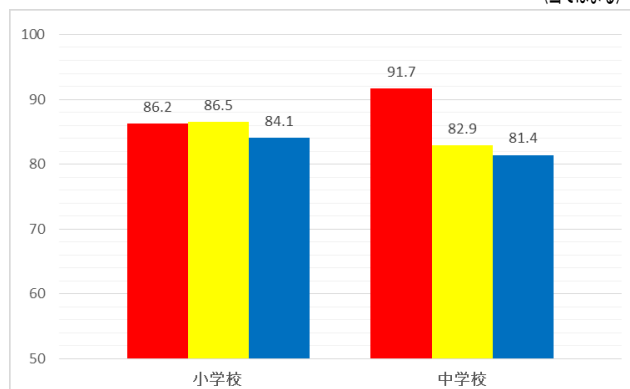
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていると思いますか

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

(当てはまる)



東員町では、子どもたちが生き生きと自分らしく成長していくために『子どもの権利条例』があります。そこには、①愛される権利 ②守られる権利 ③育つ権利 ④共に生きる権利 ⑤自分らしく生きる権利 ⑥意見を表明し参加する権利 という6つの柱があり、子どもたちの大切な権利が尊重されています。

子どもたちの生活や学習を保障するためにも、毎朝朝食を食べて元気に一日をスタートすることはとても大切なことです。東員町のほとんどの子どもが「朝食を食べている」という回答をしていることは、乳幼児期から「早寝・早起き・朝ご飯」を合い言葉に、基本的な生活習慣の確立に力を入れてきた成果と捉えることができます。一方で、中学生の割合が低下しており、要因の分析を行い、基本的な生活習慣のさらなる確立を目指していきます。

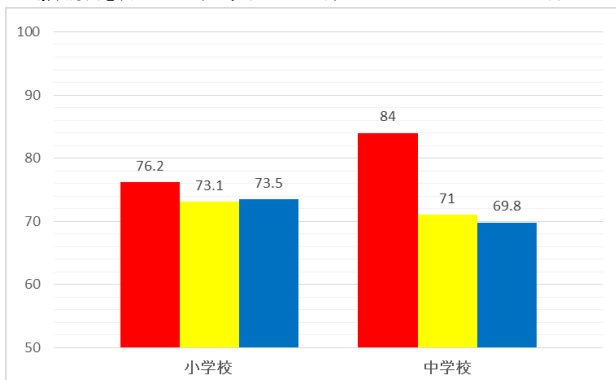
また、学級内（学校内）だけでなく、地域や社会をよりよくしたいという思いが持てる子どもの割合が中学生になっても同水準を維持しており、全国と比較して、子どもの自主性・自律性・公共性も育まれています。

東員町のほとんどの子どもは、“いじめは絶対に許さない”という態度を持ち生活しています。しかし、まだ一部の子どもはそうとはいえない現状もあります。

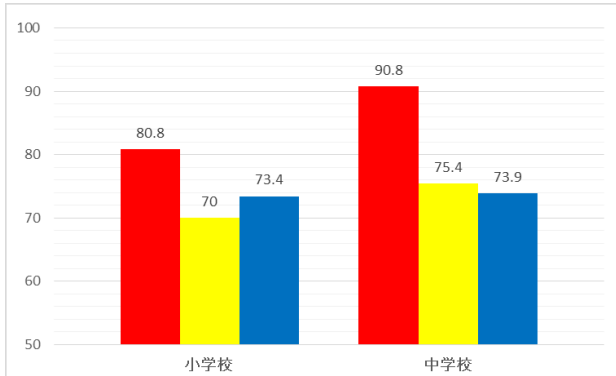
すべての子どもたち一人ひとりが大切にされ、大人に見守られながら、生き生きと生活できるように、東員町では「子どもの権利」の保障に努めています。

## 学校生活や学習に関すること

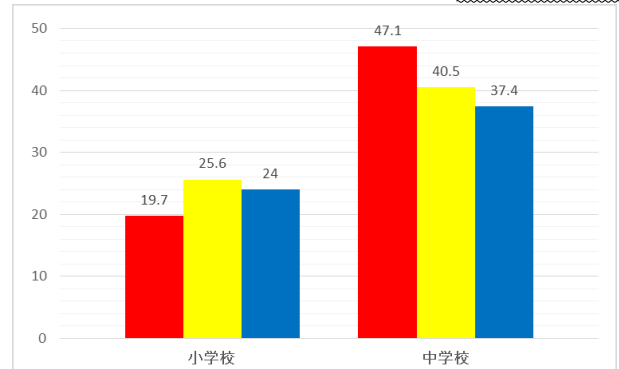
学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



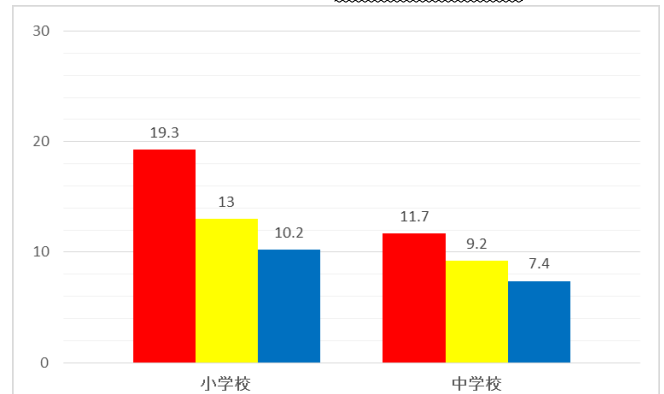
学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか。(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(全くしない)



土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾、家庭教師、ネット学習含む)(全くしない)

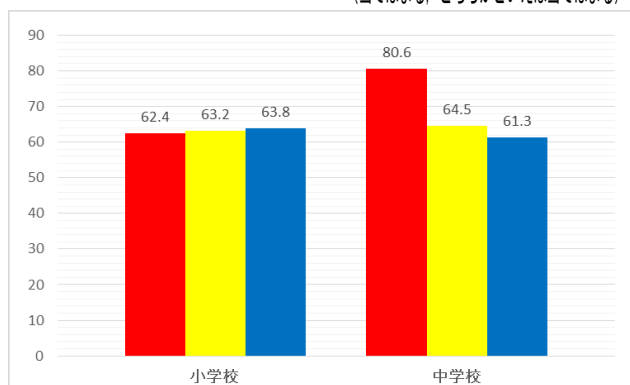


東員町の子どもたちは、学校生活の中できまりを守り、楽しく生活できているといえます。さらに、小学校の児童会や中学校の生徒会を中心に、自分たちの学校生活を見直しよりよくなる活動を積極的に行ったり、ルールやきまりを作りや学習・生活環境を整えたりするなど、その意識の高さが着実に行動につながっています。また、読書については、これまで乳幼児期（乳児・園児）から「朝読書（絵本の読み聞かせ）」「読書登山」に取り組み、読書が習慣化されています。小学校では授業での読書活動を充実させるとともに、学校図書館専門員と連携しながら、子どもたちの読書の充実に努めていきます。その結果、授業外の時間に全く読書をしない子どもは、全国や県と比較すると、小学校ではやや少ない傾向となっています。一方で、中学校では多い傾向が見られます。読書時間は、知識や見識を広げ、心を耕す時間であり「読解力」を支えるものでもあります。中学生の読書の充実に努めていきます。

休日に、勉強を全くしない割合が、全国や県に比べて高い傾向があります。要因を分析し、自学自習できる児童生徒の育成を目指していきます。

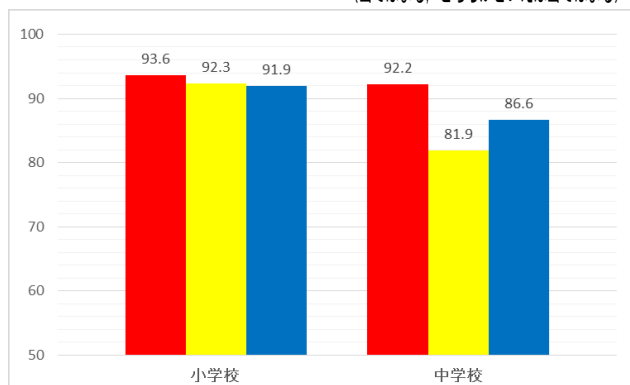
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



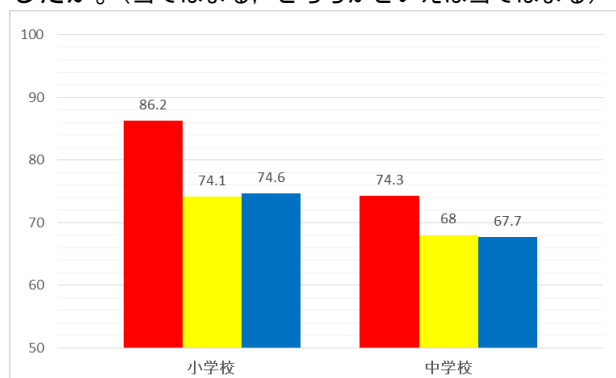
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



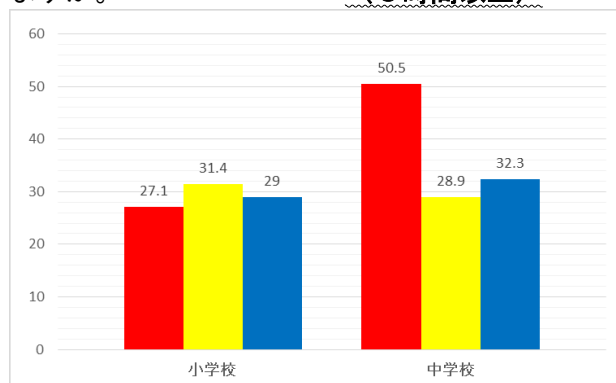
昨年度までに受けた英語の授業では、英語で自分の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか。

(当てはまる、どちらかといえば当てはまる)



普段（月曜日から金曜日）、一日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（PC・スマホを含む）をしますか。

(3時間以上)



東員町では、学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業が進められ、自ら学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力を育む教育に力を入れています。子どもたちは主体的に考え、判断し、表現する学習を通じて、「わからないことをたずね、たずねられたら説明する」という学び合いにより、上記に示した資質や能力を高める学習に取り組んでいます。調査結果から、子どもたちは様々な教科において、「話す・聞く・書く・伝える」などの対話的表現活動を意識し学習する中で、意欲的に友達との関わり学習する姿があります。

全国や県と比較して、特に大きな差があったのが、中学生における平日の一日あたりのテレビゲーム時間に3時間以上費やす子どもたちの割合です。半数以上の生徒が3時間以上しており、基本的な生活習慣の確立に影響があると捉えています。